

■ 市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長
白井 巧文



■ 園遊会に招待されました

去る 10 月 31 日、赤坂御苑で開かれた「秋の園遊会」に、宮内庁から山陽小野田市長として招待され、妻と二人で出かけてきました（ちなみに、費用は全額自己負担です）。

雅楽の流れるなか、いくつかの池の周りまできた砂利道の歩道脇に整列した約 2,000 人の出席者に、両陛下や皇族方がゆっくりと、にこやかに、時には声をかけて挨拶をされていました。

そういえば、2 年前の全国植樹祭の折、両陛下が埴生のサンライフ山陽に立ち寄られ、お見送りをした私たちの前をお通りになられた際、天皇陛下が私の名札を見て、「市長さん、市民のためにがんばってください。」と、一言激励の言葉をかけてくださったことを、また思い出しました。

被災地を見舞われた両陛下が、いつも被災者に寄り添われる報道でのお姿はすっかり見慣れていましたが、この度の園遊会でも、両陛下が仲睦まじく、丁寧に会場をお回りになるお姿がとても印象的でした。

■ 若者交流推進事業を始めました

10 月から本市主催の若者交流推進事業を始めました。初回は遠来組も含め、24 人（男：15 人、女：9 人）が参加してくれました。

当日は、本市の名誉市民「笠井順八翁」にちなんで、徳利窯、住吉神社、龍遊館を訪ねたり、

山手倶楽部での昼食、ついでゲームなどで楽しいひとときを過ごしました。

ただ、事業を進めるにあたっては、個人情報には十分配慮しました。名札には名字だけを記載し、住所やメールアドレスなどは個人情報として事務局だけが管理します。相手方の情報を知りたい参加者は、事務局を通して、相手方の承諾を条件としてのみ、情報の提供を得ることができます。

早速、事務局には情報提供を求める数件の申し込みがあったそうです。

毎月の継続事業ですが、残念ながら 11 月はお休み。12 月は 15 日(日)、参加料 3,000 円の予定です。また、初回は年齢を男女とも「30 歳以上」としましたが、12 月は男女ともに「おおむね 25 歳以上」と改めました。詳しくは、11 ページ「情報ひろば」をご覧ください。

参加者に楽しさと爽やかさの残る会にしたいと、世話焼きのおじさん、おばさんの 5 人が知恵を絞っています。

